

# 平成28年度 学校自己評価システムシート (県立川口高等学校)

目指す学校像 生徒の可能性を追求し、進路を実現する力と人間力を高める学校

重点目標	1 学力の育成と授業改善
	2 生徒の進路希望の実現
	3 部活動・学校行事の充実と活性化
	4 地域に根ざし、信頼される学校づくり

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	8名

学 校 自 己 評 価					
年 度 目 標			年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
番号	現状と課題	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	
1	<p><b>【現状】</b> 落ち着いた雰囲気の中で授業が展開されている。職員全体で授業改善に取り組み、生徒の学力の定着・向上に向けて、努力している。</p> <p><b>【課題】</b> 生徒の家庭学習時間は依然少ない状態である。一層の授業改善や課題等の取り組みにより、家庭学習の習慣を確立させ基礎学力を定着させることが課題である。</p>	<p>①生徒の学習時間を増やすため、学年毎・教科毎に週末課題と確認テストを実施する。</p> <p>②学習意欲を高めるため、成績優秀者や検定試験合格者を表彰し、保護者に通知する。</p> <p>③授業への集中力を高めるため、学年毎に朝読書や朝自習を実施する。</p>	<p>・各学年・教科での実施回数。</p> <p>・各学期毎の表彰者の数。</p> <p>・各学年での実施状況。</p>	<p>生徒は授業や課題等に真面目に取り組んでいるが、依然家庭での学習習慣の確立が課題である。</p> <p>・各学年共数学・英語・国語を中心に計画的な課題と小テスト等の取組を実施した。</p> <p>・成績優秀者等を表彰する「チーム川高」賞を創設し、1・2学期の合計で55名の生徒を表彰した。併せて該当生徒の保護者にも通知した。生徒集団の学習に対する意欲が高まった。</p> <p>・朝読書は定着し、全校体制で行なわれている。朝学習は1・2年で実施し、各学年共約7割の生徒に定着している。</p>	<p>達成度 B</p> <p>次年度への課題と改善策</p> <p><b>【課題】</b> 生徒の家庭学習時間の増加</p> <p><b>【改善策】</b> ・小テストや課題による学習習慣の定着 ・各種検定試験等の積極的な活用 ・朝読書や朝学習の体系的な実施</p>
2	<p><b>【現状】</b> 4年制大学進学者が増加しており、高い目標に向けて、積極的にチャレンジしている。また、一般入試を受験する生徒も増加している。</p> <p><b>【課題】</b> 一般入試を受験する生徒は増加しているが、安易に推薦入試やAO入試等を選択する生徒もいる。生徒が高い目標を設定し、その実現に向け継続的に努力するため、自らの実力を客観的に把握させ、学力向上に積極的に取り組ませよう計画的な進路指導の取組を充実させる。</p>	<p>①生徒に多様な進路を考えさせるため、「ようこそ先輩」や「上級学校体験授業」等の進路行事を実施する。</p> <p>②生徒に自らの生活や学力の状況を把握させるため「スタディサポート」や「実力診断テスト」、ベネッセや河合塾の模試を実施する。</p> <p>③生徒に、大学訪問やオープンキャンパスに参加させ、レポートを提出させる。</p> <p>④一般入試に向けた学力を早期から育成するため、平日や長期休業中に進学補習・小論文指導・個別指導を実施する。</p> <p>⑤保護者に的確な進路情報を提供するため、保護者向けの説明会・進路講演会を実施する。</p>	<p>・行事の回数と一般入試受験者の増加。</p> <p>・各学年毎に1年間に設定された模試等の延べ受験者数。</p> <p>・生徒にレポートを作成させる。</p> <p>・開講講座数と延べ参加者数。</p> <p>・説明会・講演会の回数と参加人数。</p>	<p>丁寧な進路指導体制により、生徒の可能性を高めることができた。</p> <p>・主な進路行事(7回)や分野別ガイダンス(8回)等が計画的に展開され、一般入試希望者は112名に増加した。</p> <p>・模試の延べ受験者数は、1年502名、2年605名、3年524名である。</p> <p>・全生徒に学校見学ノートを配布し、2年生では全員に夏季休業中に2校の見学とその報告書の提出をさせた。1、3年生も生徒の進路状況により見学をさせた。</p> <p>・昨年度2月より、現3年生の生徒を対象に数学・英語を中心に放課後の講習会を実施し、3学期まで継続している。特に夏季休業中には、25講座、延べ400名が参加した。</p> <p>・学習環境の整備として、職員室の前、渡り廊下に机と照明を配置し、「質問コーナー」を設置した。</p> <p>・保護者対象の行事として、3学年保護者・生徒対象進路説明会314名(4/21)、PTA総会前の進路講演会78名(5/21)、PTA大学バス見学会40名(6/17)を実施し、積極的な情報提供を行なった。</p>	<p>達成度 A</p> <p>次年度への課題と改善策</p> <p><b>【課題】</b> 自らの可能性を追求し、進路希望を実現する力の育成</p> <p><b>【改善策】</b> ・進路講演やガイダンス等の一層の充実 ・保護者への情報提供の推進 ・一般入試に向けた講習会等の学習支援体制の構築 ・生徒の学力を把握するために模擬試験等の一層の活用を図る</p>
3	<p><b>【現状】</b> 生徒の基本的な生活習慣はほぼ確立されている。遅刻や欠席する生徒は少なく、学習と部活動の両立に努める生徒が多い。しかし、接触事故等の交通事故が起きている。</p> <p><b>【課題】</b> 安全で安心な学校生活を通して、学習活動や学校行事、部活動等で生徒が一層活躍できるようにする。多くの生徒が自転車通学をする中で、交通ルールやマナーを遵守する姿勢を育成し交通事故を防止する。</p>	<p>①職員間の共通理解の下、月間目標を定め、挨拶の励行、登校指導、整容指導、昼休みの指導など継続的な生活指導を実施する。</p> <p>②生徒に制服の着こなしに対する意識を醸成するため、生徒会・委員会と連携して指導する。</p> <p>③自転車乗車指導を一層徹底し、交通安全に対する意識を高める。</p> <p>④文武両道を重んじ、部活動実績を向上させるため、生徒に部活動への取り組み姿勢の改善とスキルアップを求める。</p> <p>⑤人と交わる力やリーダーシップを育てるために学校行事の中で、生徒が主体的に活動する内容を増やす。</p>	<p>・1日当たりの遅刻人数の減少。</p> <p>・整容指導対象者数の減少。</p> <p>・重大自転車交通事故なし。</p> <p>・実績を向上させたり、活動が活性化した部活動の状況。</p> <p>・生徒アンケートの結果。</p>	<p>組織的な生徒指導体制と行事や部活動等の課外活動の活性化により、生徒の人間力を高めることができた。</p> <p>・1日平均の遅刻者数は2.5名と大変少ない。毎月の月間目標の教室掲示、生活委員による放送や声かけ、着席チェック等により一層の徹底を図っている。</p> <p>・学期毎の整容指導や定期考査時のチェックにより、整容指導の対象者は各学年とも5名以内と大変少ない状況で、生徒の整容意識は確立している。</p> <p>・学期毎の自転車点検や登校時の指導により、自転車事故は12件と減少している。雨天時のカッパの着用もしっかりとできている。</p> <p>・部活動の加入率は86.7%と高い状況である。ウエイトリフティング部や書道部を筆頭に、多くの部活動が精力的に行なわれ、良好な成績を残している。</p> <p>・生徒アンケートでは、「学校行事に積極的に参加した」94.7%、「学校行事や生徒会活動が盛んである」86.9%であった。生徒会の活動では、壮行会の演出の工夫や学校説明会での案内受付対応、活動の見える化を図る情報紙「川高営業中」の発行や目安箱の設置、校門での挨拶活動など主体的な活動を行なっている。</p>	<p>達成度 A</p> <p>次年度への課題と改善策</p> <p><b>【課題】</b> 高い人間力の育成と安全安心な学校生活の充実</p> <p><b>【改善策】</b> ・部活動や学校行事を通して豊かな人間性や協調性を育成する ・継続して基本的な生活習慣の確立を図る ・整容指導等の継続による規範意識の更なる醸成 ・交通ルールの理解促進と自転車乗車マナーの向上</p>
4	<p><b>【現状】</b> 地域や保護者から概ね信頼され、PTA活動や諸行事の参加者・来校者は増加傾向にある。また、生徒募集においても入学志願者数は安定している。</p> <p><b>【課題】</b> 地域・保護者との連携行事や情報発信の工夫改善により、本校の教育活動への理解を深め、協力体制を構築する。</p>	<p>①本校の情報発信の方法を工夫改善し、川高ファンを増やすと共に、PTA・後援会、同窓会の会員の来校回数を増加させる。</p> <p>②学校評議員会(6月)、学校評価懇話会(9月、2月)を実施し、学校教育活動の情報提供と双方向の意見交換を行う。</p> <p>③生徒・保護者の意見を把握するため、年間2回の生徒・保護者のアンケートを実施する。</p> <p>④川高書展を1つのモデルケースとして、部活動等を通して、地域や中学生・保護者との交流機会を増やす。</p>	<p>・HPの更新数とアクセス数及び来校者数。</p> <p>・学校に対する評価や要望の状況。</p> <p>・生徒保護者アンケートの結果。</p> <p>・交流の機会が増えたか。</p>	<p>地域に根ざした信頼される学校づくりを行なっている</p> <p>・HPの改良を行ない閲覧数3.7万件を超え、更新回数も増加した。作成中の学校紹介DVDを学校説明会やPTA理事会等で上映した。保護者等の主な来校者数等は、公開授業と保護会391名・PTA総会78名(5/21)、PTA理事会では毎回約50名、長距離走大会補助50名(11/17)、文化講演会30名(10/6)、同窓会総会30名(11/26)等である。</p> <p>・年間3回の会議を通して、本校の教育活動の成果や課題を共有でき、また、建設的な意見を多数頂き、学校運営に活かしている。</p> <p>・生徒保護者アンケートでは「県立川口高校に入学してよかったと感じている」が生徒と保護者は各々82.7%、94.7%と高い結果となっている。</p> <p>・書道部の川高書展(11/5、6)、野球部の清掃活動、ボランティア部の活動、サイエンス部の実験講座等により、地域との交流を積極的に行なっている。</p>	<p>達成度 A</p> <p>次年度への課題と改善策</p> <p><b>【課題】</b> 情報発信ツールを工夫し、本校の教育活動への一層の理解と協力体制の充実を図る</p> <p><b>【改善策】</b> ・学校紹介DVD、HP等の多様な方法を用いて積極的な情報発信を行なう ・PTAと後援会、同窓会及び地域と連携して信頼関係を確立する ・学校評価懇話会を積極的に活用する。</p>

学 校 関 係 者 評 価	
実 施 日 平成 29年2月17日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>・授業改善をとおり、生徒の興味関心を高める、わかる授業を推進してほしい。</p> <p>・家庭学習の時間を増加させるため、課題や小テスト、資格取得、朝学習等の学習時間を増やす取組を積極的に進めてほしい。</p> <p>・生徒が主体的に学ぶ授業の一層の充実を図ってほしい。</p>	
<p>・進路オリエンテーションを一層充実させ、1年次から高い進路意識を持たせ、生徒に進路目標をしっかりと持たせる指導をお願いしたい。</p> <p>・一般受験の生徒に対する指導体制の充実を図り、高い目標に挑戦させて欲しい。</p> <p>・PTA大学訪問等の保護者の参加者が増えるように工夫をしてほしい。</p>	
<p>・ウエイトリフティング部や書道部など多数の部活動が良好な成績を残しているのはすばらしい。</p> <p>・部活と学業の両立については工夫をしてほしい。</p> <p>・毎年、遅刻欠席数が少なく3ヶ年皆勤が大変多い。生活習慣が確立されている。</p> <p>・本校生は交通ルールやマナーをよく守っているが、継続して交通事故防止の指導に取り組んでいただきたい。</p>	
<p>・HPやメール配信、学校紹介DVDの作成、情報紙など多様な広報活動をとおり、学校の教育活動に理解や協力を得ようと精力的に取り組んでいる。今後も継続していただきたい。</p> <p>・今年度より、生徒と保護者のアンケートを2回実施しているが、アンケート内容の検討も必要である。</p>	